

市長の窓

しげ のぶ
滋宣の



ほう ちゅう かん

あん ちゅう めい

“忙中閑あり暗中明あり”

その 37

～ 白 秋 ～

白には、澄んだ、透明などという意味があります。大気も水も澄んで爽やかなこの季節、古人は秋には白がふさわしいとして、白秋と呼びました。もともとは中国の五行思想で、季節のうちで秋に白を配したことに由来します。秋のことを白帝ともいいますが、秋をつかさどる神のことです。

ちなみに、芽吹きの春は青（青春、青帝）、炎暑の夏は朱（朱夏、炎帝）、厳寒の冬は玄（玄冬、玄帝）と呼びます。

なかでも青春と白秋という言葉が最もポピュラーですが、私は朱夏、玄冬という呼び方も好きです。

季節を的確に表していて、俳句の季語にもなっています。

白秋と 思いぬ思ひ 余りては
(後藤 比奈夫)

能代市長 齊 藤 滋 宣



9月25日(火)、能代商業高校で甲子園出場記念碑の
除幕式が行われました